

1	審議会名	真田地域協議会
2	日時	平成26年7月30日(水) 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	一之瀬勤委員、小林史夫委員、小林満子委員、小宮山民夫委員、 竹村尚美委員、田中新平委員、長崎伊登子委員、長崎理恵子委員、 縷沢剛史委員、藤沢累美子委員、堀内朝子委員、松井よし枝委員、 三井秀雄委員、宮下俊哉委員、村田眞理委員、若林正徳委員 【欠席委員】4名
5	市側出席者	高橋センター長、藤沢地域振興課長、山宮市民生活課長兼健康福祉課長 滝澤産業観光課長、依田建設課長、佐藤上下水道課長、柳沢教育事務所長 柳沢真田消防署長、飯島地域政策係長、西澤主査、伊藤主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年8月20日
協議事項等		
1	開会(小林満子 副会長)	
2	会長あいさつ(三井会長)	お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。皆さんに挨拶とお詫びを申し上げなければ ならないということになりました。すでに皆さんの方にご通知を差し上げていますが、3回の協議会 ということで審議をしまいましたが、私の力不足ということ、皆さんの協議という場を作る ことができませんでした。皆さんから厳しいご指摘、或いはご意見、或いはご提案等を頂きました。 会長の役目としての議事の運営に能率的に関わらなければならないということの意識が少なかった ということ、この場をお借りしまして皆さんにお詫びを申し上げます。その上で副会長並びに事 務局と検討いたしました。通常ですと1回のところを2回協議しました。今後の対応につきましては、 委員の皆さんと作る協議会という意識をしっかりと進めてまいりたいと思っております。今後 におきましても皆さんから、運営についてご意見等ありましたら、直接でもいいですし、事務局経由で も構いませんが、ご指摘いただければと思います。私の想いについては通知の中に書かせていただき ましたが、私の想いがひとりよがりであったということで申し訳なかったと思っております。今日は たくさん審議事項がありますのでよろしくお願いします。
3	センター長あいさつ(高橋センター長)	真田まつりのチラシをお配りしてあります。この協議会でも真田まつり実行委員会の委員になられ ている方が大勢いらっしゃる中ではございますが、宣伝をさせていただきたいと思っております。今週末で すが、第30回の真田まつりが開催されます。先週から各地でお祭りが始まっておりますが、真田地 域の唯一の盛大な祭りということで、30回の節目を迎えております。今年は様々な盛りだくさんの イベントを用意しておりますので、各委員の皆様におかれましては、是非ご家族揃ってお出かけいた だければありがたいと思っております。今日はよろしくお願いします。
	(副会長)	縷沢委員から発言を求められておりますので、発言をしていただきたいと思います。
	(委員)	新聞報道等でご存知かと思いますが、7月20日に菅平高原で大規模な食中毒事故がありまし て、真田地域の皆様にはご心配をおかけして、大変申し訳ありませんでした。約3,000食のお弁当の 中で、最終的には保健所で調べている中で、600人ほどの食中毒事故になりました。3つの大会を実 施していきまして、一つは全国規模の7人制のラグビーの大会、それから小学生のラグビーの大会、そ れから小学生のサッカー大会、全部で3,700人くらいの規模の大会でございました。新聞報道でもご 存知のように、全国版の記事になりまして、いろいろと皆様にはご迷惑をおかけしたと思いま す。先週の24日に、原因がお弁当ということわかりまして、その後、黄色ブドウ球菌ということで入院

された方も2日後には退院されました。病院も13施設に搬送され、入院患者の人数もわからない状態でしたが、10日ほど経っているいろんなことがわかってきました。一昨日に、弁当納入業者と菅平側との話ができるようになりました。本当に皆さんにいろいろとご心配をおかけして申し訳ありませんでした。

話は変わりますが、菅平高原でラグビーの誘致の関係でTシャツを作りました。招致委員会で選んだロゴが入っています。一枚1,600円で販売できますので、よろしくお願ひしたいと思います。

4 協議事項（三井会長 進行）

（1）わがまち魅力アップ応援事業審査

～事務局から日程等について説明～

【質疑・意見等】

（委員）審査調書の上のところ委員氏名とありますが、これは名前を書いて提出するというのでしょうか。私の記憶が間違っているかもしれませんが、いままで名前を書いていなかったと思います。

（事務局）書いてはいなかったのですが、名前は非公開となっており、誰にも見せることはありませんのでご協力をお願いできればと思います。

（委員）このような調書に名前を書いてというのは、書きづらいという部分があると思う。

（会長）氏名を書く必要性はあるのか確認したい。

（事務局）間違えないように確認のためということである。

（事務局）事務局で事務的に確認のために名前を書いていただければということですが、全員の委員さんからのご提出があれば、皆さんのご協議で、書かないほうが書きやすいという話であればそういうことで構いませんので、よろしくお願ひしたいと思います。

（会長）ただいま事務局で説明がありましたが、無記名・記名ということでご意見ありますでしょうか。委員から無記名でという話がありますが。

（会長）みなさんご意見いかがでしょうか。なければ、事務局のほうの提案どおり記名ということでもよろしいでしょうか。

（副会長）非公開だから記名しても事務局だけの問題だから、書いても書かなくてもどっちでもいいと思う。

（委員）人数は限られていますし、特に名前を書く必要性も認められないと思いますので無記名でどうでしょうか。

（会長）無記名でということ2名ご意見をいただきましたが、無記名でいきたいと思います。よろしいでしょうか。

【決定事項】

わがまち魅力アップ応援事業の審査調書の委員氏名は記入しないことに決定

（会長）今回は1件の審査となります。菅平年末ナイター無料感謝デーの審査を行います。この事業は委員が関係者となりますので、審査中の発言はできません。まず事務局から説明事項がありましたらお願いします。

～事務局から自治センター関係課意見調書及び選考ポイントの説明～

（会長）それではプレゼンテーションを始めます。

～応募プレゼンテーション

【質疑応答】

（委員）事業内容で上田市民の皆様が菅平高原の魅力を知っていただくということが書いてありましてナイター無料感謝デーということですが、予算書を見ますと自己資金もありますけれども、謝金とグレンデの使用料しか書いていないのだが、宣伝は旅館組合の自己資金の129,200円の中から支出されるのでしょうか。

（申込者）ホームページ、ケーブルビジョン、広報であれば上田市民への宣伝もできますし、県内の

方にはいろんな旅行会社のパンフレットを作るときに告知ができます。まだ時間があるのでそんな形でPRしていきたいと思う。お金のあまりかからない形で1年目を実施したい。単純にナイターを借用するだけの金額で実施したいということです。基本的に後年度も既存の媒体でやっていきたい。

(委員) いままでナイタースキーでは、どのくらいのお客様がいらっしゃるのでしょうか。

(申込者) 12月31日は100人程度で少ないです。宿泊されている方で近くのナイターゲレンデの日の出地域に宿泊されている方たちだけなので、31日は寂しい状況である。

(委員) わがまち魅力アップ応援事業を活用する前に、旅館組合は144軒あり、簡単に言えば1軒1,000円をだせば予算が足りてしまうと思う。そういうことは検討されたのでしょうか。

(申込者) 旅館組合自体は、ほとんど予算がないような形になっていまして、菅平高原観光協会のほうに予算があるようになっています。

(委員) ナイターということでライトは大丈夫か。

(申込者) 大丈夫だと思われます。

(委員) 1年目は感謝デーですが、2年目からワールドカップのPRが出ています。話を聞くに旅館組合の方達が全員賛成しているわけでないとお聞きしております。一部の方が賛成していて、ほとんどの方は賛成しているわけではないという声をお聞きしていますので、その点はいかがでしょう。

(申込者) いろんな方がいらっしゃると思いますが、基本的にはラグビーの町であり地元の中でも冬の産業と夏の産業をうまく融合してかないといけないと考えている。それで真田丸であるとかラグビーワールドカップを平行してやっていくような形になると思います。実際に冒頭で皆さんにTシャツをお見せしましたが、ロゴマークもできましたので、菅平の中でもいろんな意見の方がいますけれども、ナイターをやって常にワールドカップに向けて準備をしていくような形にしたいと、そういう想いもありまして、旅館組合の有志の中で意見がでましたので、こういう計画としました。

(委員) 例えば2年目に地域の皆さんのご理解が得られないと駄目だと思う。そういう点も来年はお考えになった方がよろしいと思います。

(申込者) ありがとうございます。

(委員) 終了が23時ということで大変遅い時間ですが、スポーツをしますとお腹が空いたり、コーヒーが飲みたいと思う。ソフト面で飲食店が営業しているとかサービスが受けられるとか、ソフト面のサービスは充実していける方向になるのでしょうか。その方が盛り上がると思います。

(申込者) コンビニエンスストアも復活しましたし、居酒屋さんも営業していますし、近くに農協やお土産屋さんが何店舗かあります。営業時間については11時まで営業してもらうようお願いはしているが、閉めてしまうのが現状です。今後もお願いをしていきたい。振る舞い鍋のほうも併せてやるような形にはしたいと考えている。来ていただいたお客様に楽しんでいただけるようなイベントにしたい。振る舞いの中で、チョコレートフォンデュもやっていて子供たちにも人気があるのでやっていきたいと思います。

(委員) 年末の積雪量はどうか。雪不足とかは心配しなくてもいいのか。

(申込者) 日の出ゲレンデは、天狗ゲレンデの半分の長さしかない。スノーマシンで裏太郎ゲレンデに雪をつけて、その次に日の出ゲレンデに雪がつくので営業できるようになっています。風の影響も受けにくいゲレンデです。クリスマス前に寒波があるので、いままで営業できなかったということはない。その点は心配ないと思います。

(委員) 時間が遅いので防犯的な充実は考えているのか。スポーツなのでそういうことも視野に入れて欲しい。

(申込者) 検討していきたい。だいたい菅平の子供たちが来ていただけるのですが、ずっと滑っていて親御さんが迎えに来てくれる。

(委員) 自己資金の129,200円とあるが、旅館組合は軒数が多い中で、中身はどういう資金なのでしょうか。

(申込者) こちらは、各部会がありまして、ホテル部、旅館部、ペンション部というのがあるが、各

部会の持ち寄りお金です。

(委員) もう一声かけて 129,200 円ということにはならないのか。

(申込者) たしかにおっしゃる通りだが、真田の皆様も菅平に来ていただけていない方もいらっしゃると思うので、スキーを楽しんでいただければと思っている。それが一番です。

(委員) 時間が遅いが、菅平に行く道中はどうでしょうか。上田の中心部からでも平気でしょうか。

(申込者) 除雪については問題ありません。この間の大雪のときも横沢の交差点から菅平は雪がありませんでした。除雪では志賀高原と比べても菅平の除雪はかなりきれいになっています。

(委員) 開催日が 12 月 31 日とあります。大晦日で非常に慌ただしい。そういった中で地元の人たちがどれだけ行くのだろうかということになるが、いままでもナイターでお客さんが 100 人くらいきていましたということですから、たぶん無料ですよということになれば、旅館に宿泊しているお客さんだけで倍くらいになると思うわけです。その他に地元の人たちにも来てくださいということですので、私に言わせると、都会の方に視線が向いているなと思います。やはり地元の人たちをたくさん呼び込むという意味では宣伝のほうをうまくやっていただきたい。菅平の宣伝というと、どちらかというと地元にはあまり情報がこない。どちらかというと都会の方に向いているような気がする。今回、この事業を行うにあたっては、ぜひ地元の方から呼びこんでいただきたい。宣伝を上手にやっていただきたい。

(申込者) 貴重なご意見ありがとうございます。学校などにも早めに通知するような形にして周知していきたい。

(会長) この後、採決になりますが、その際、条件付きということも考えられます。条件をつけたなら採択できるとも含めて、この場で確認等も含めてご意見を頂けたらと思います。

(委員) 夜 11 時までということですが、終わったあと 2 年参りにきていただけることを含めて 11 時ということだと思います。10 時を過ぎると冷え込みも厳しいと思いますが、どのくらいの方が最後までいらっちゃってスキーをやると思いますか。

(申込者) 子供は元気で最後まで滑ってしまうと思います。200 人くらいきて最後まで滑るのは 50 人くらいになると思われま。その日の天気によっても変わると思う。吹雪いていたら早めに帰ってしまうと思う。ただ、私の記憶の中では 20 年の中で 3 回くらい吹雪いたくらいです。

(委員) 万が一この事業が認められなかったらやめてしまうのか。

(申込者) なんらかの形で、9 時ぐらいまではやるつもりではいます。その点は自己資金の中でやります。

(会長) これから審査調書に記入してもらいます。事務局にお聞きしたいのですが、条件をつけるという時において、なにかコメントも書いてもらったほうがよろしいですか。

(事務局) わがまち魅力アップ応援事業評価結果及び選考のところで、採点の結果をみまして、そこでご協議いただければと思います。

～評価～ 審査調書に記入後回収

(2) 前回決定事項確認

～事務局から説明～

(3) 分科会協議テーマ及び分科会運営について

～事務局から説明～

(会長) ただいま、アンケート集計結果と、テーマの案ということで、役員でまとめさせていただいたものを提示させていただきました。二つのテーマということで絞り、その中でさらにつめていただくという方法です。安心して暮らせる地域づくりにおきましては、非常に範囲が広いということで、分科会の中で、また二つぐらいに検討していただけたらというのが提示させていただいた案です。その中に以前のアンケート集計の中で、コミュニティという言葉、そういったものを含めて安心して暮らせる地域づくりということで、ご検討をいただけたらと思っております。20 名という中で議論するよりは、少ない人数の中で自分たちの意見が反映されるような人数でコメ

ントいただくのがいいということが、こちら側の考えということになります。よろしいでしょうか。ご賛同いただける方は挙手をお願いします。

～全員賛成～

【決定事項】 分科会協議テーマについて決定

(会長) 分科会が二つ決まりました。一つは特色ある観光の振興ということを第1分科会ということにします。安心して暮らせる地域づくりについては第2分科会という位置づけにさせていただきます。その中で二つに分けて、最終的には3つの分科会という形にさせていただきます。

次に、第5回地域協議会分科会の案について事務局から説明をお願いします。

～事務局から説明～

(会長) 大河ドラマにつきましては、それぞれの分科会の中で必ず関係してきます。それから一過性のものではなく継続性を考えると、長期にわたっての視点から真田丸をみて頂いたほうがいいだろうということで、検討していただきたいと考えました。それを全体会の中でご報告いただきながら調整を図って進めていけたらと思います。それから第2分科会では人数が多く、最終的には二つに分かれますが、真田丸の協議におきましても二つのグループに分けてお話いただくのもよろしいかと思っております。進め方におきまして、ご意見等ありましたらお出してください。

(委員) 確認ですが、第5回地域協議会分科会という形で6回、7回と継続していくということによろしいでしょうか。

(副会長) 全体会は今日までで、8月からは分科会に分かれて、という進め方です。これから分科会については説明します。分科会に入る前にどういうふうにやったらいいか協議してもらおう。真田丸のことは全体でやるということです。

(委員) 真田丸に関することについては今後続けていくということによろしいでしょうか。

(会長) 市のほうの同期をとりながら、また他の団体等と同期をとりながら進めていくことになろうかと思っております。今の件につきましてご賛同いただけますでしょうか。

～意見なし～

【決定事項】 第5回地域協議会分科会について決定

(会長) 分科会の運営ということで、事務局から説明をお願いします。

～事務局から説明～

(会長) 運営については第2回協議会5月14日の資料3の中でいくつか確認をしております。その中にいつまでにまとめるかという記載があります。一つの案として平成27年12月ということもだされていますが、これから具体的に分科会を開きますので、テーマの内容により話し合う期限について、ご意見をいただけたらと思います。それから、日程ですが、分科会等の日程は本来の協議会に合わせると、第2回協議会の資料2の中で日程を決められております。ただし、分科会の内容によっては、特別に別の日に行うということも考えられるという意見もでていたと思います。それを含めまして事務局から説明がありましたが、資料3についてご意見等ありましたらお願いしたいと思います。変えたほうがいいとか、加筆するものがあればお出してください。皆さんが一番やりやすいものに変えていけたらと思います。別の協議会の中でこんな意見がありました。分科会には正副会長はあまり出席しない方がよくまとまるというようなことを別の協議会からお聞きしております。提言書を仮に市長にあげていくことになった場合については、提言書は会長名にはなりますが、説明そのものは、分科会長さんをお願いできればと考えております。分科会の中においては重みをもたしていけたらいいと考えている。分科会と全体会との調整ということですが、毎回全体会議を行ってから分科会に分かれるという方法、それから分科会だけを行ってしまっ、何回かに1回、全体会の中で報告したりする方法ということがあろうかと思いますが、それについても御意見をいただきたいと思っております。

(委員) 先ほどの真田丸に関する観光の面につきまして、時間が非常に限られていることから、できれば全体会の中で、真田丸なり観光のことを共有しながら、特色ある観光の振興ということに関してはリアルタイムで情報を共有できれば一番ありがたいと思う。いかがでしょうか。

(会長) そのような意見ができましたが皆さんいかがでしょうか。毎回全体会の中で各分科会のからお

話をいただくということをしながら調整をして、それぞれの分科会の中で残りの時間を協議するという動きがいいということだと思う。

(委員) 特色ある観光の振興という分科会のほうでも、進捗状況をみんなで共有しながら、行政からも最新の情報を提供していただき協議していくことが効果的ではないでしょうか。

(副会長) いままでは、全体会の中で各分科会の状況を報告いただいて確認してから、各分科会に分かれて協議しました。今回も同じように進んでいくと思います。

(委員) 加えて最新情報もできれば提供していただけるとありがたい。

(副会長) 全体会で連絡事項もありますので、そこで言っていければと思う。全体に情報提供がされます。

(会長) 必ず全体会の中で、真田丸の対応についての話を行いながら進めていきます。行政側もいろいろと動きがあると聞いている。私のほうでは、先日、正副会長会がありまして、その中で視察ということにおいては手を挙げております。過去に大河ドラマが実施された地域の視察をしたいということをお願いしております。皆さんの御意見をお聞きしながら進めていきたいと思えます。よろしいでしょうか

～意見なし～

【決定事項】分科会運営について決定

(会長) 続きまして、具体的に分科会に分かれていくわけですが、委員の皆さんには二つある分科会のどちらかに入っていただくこととなります。決め方について事務局から提案をお願いします。

～事務局から説明～

(会長) 皆さん、各代表ということで来られていますので、場合によっては持ち帰ってということもあろうかと思えます。それから、テーマの中で「安心して暮らせる地域づくり」というところで、また二つに分かれることとなりますが、6月25日の第3回協議会の中で、皆さんから一言ずつ御意見をいただいた中に、観光といわれるものが4件、コミュニティといわれるものが6件、協議会運営等に関する意見としては2件ということで、皆さんの方から御意見をいただいております。その中に定住性だとか、人口増だとか、ボランティアだとか、健康都市づくりだとか、この地域をどうしていくかというポジティブな内容が入っています。それらを含めて、第2分科会の「安心して暮らせる地域づくり」については、ご検討をいただけたらと思えます。委員の方からの一言ということで、資料としてでておりますので、これらも取り入れていただきたいと思います。それでは、アンケートをとって分科会に分かれていただくということで決定させていただきますがよろしいでしょうか。

(委員) 7月11日付けで、分科会協議テーマに関する調査がきていたが、それを提出した方がいらっしやると思えます。今回改めてアンケートに書かなくても決まると思えます。アンケートを使わなくて挙手で決められると思う。

(会長) 今日とれば問題ないのですが、持ち帰らないといけない団体の方もいらっしやると思えますので、そのように考えただけです。もし皆さんがここで決められることならば決めてしまうと次回はスムーズにできます。

(副会長) 団体から全部一任されている方もいらっしやると思う。そうではない人もいると思うので、今回のアンケートをとることになった。

(事務局) もし、最終的に人数がアンバランスな場合は調整が必要になり個々にお問い合わせするかもしれませんが、もしお帰りの際に事務局で希望をお聞きするというだけでもよろしいかと思えます。

(会長) 今日、皆さんが決められるということであれば決めていきたい。それでよろしいでしょうか。
～承認される～

(会長) 第1分科会と第2分科会で挙手をお願いしたいと思います。それでは第1分科はどうでしょうか。

～6名の挙手～

(会長) 第2分科会は残りの委員さんでよろしいですね。欠席されている4名の委員はどうでしょうか。

(事務局)事務局で確認します。お名前を確認します。第1分科会に手を挙げていただいた方は、一之瀬さん、田中さん、長崎理恵子さん、縵澤さん、藤沢さん、若林さんです。

(会長)第2分科会は二つに分かれて、真田丸においてはコメントをいただくということになりますが、テーマによって分けるわけではありませんので、機械的に分けさせていただきたいと思いません。

【分科会のメンバーについて決定】 出席された委員のみ

(4)わがまち魅力アップ応援事業評価結果及び選考
非公開

5 その他

・真田まつりについて

(委員)去年、真田まつりで花火の協賛金を協議会でだした。今年はどうするのか。

(産業観光課長)昨年と比べて、今年は第30回の節目の年ということもあり、多くの協賛金があつまりました。ありがとうございました。

・過去に実施したわがまち魅力アップ応援事業について

(委員)いまから3~4年前になりますが、私の所属している幸村街道会で、わがまち魅力アップ応援事業で、着ぐるみの「ゆきたん」を制作させていただきました。制作費の半分を市のほうで助成をしていただきました。お陰様をもちまして多くの皆さんに可愛がっていただいたり、市のイベントにも出演させていただいたりしています。知名度も上がってきまして、これから益々地元のために頑張りたいなということで幸村街道会の中で話しているところです。わがまち魅力アップ応援事業で半額助成をしていただいているわけですが、助成をいただかなくてもいい状態になってきている。いままであまり前例がないようですが、市で助成していただいた補助金を市へ返納できないかと幸村街道会からあがっている。どのようにいたらいいでしょうか。

(会長)お気持ちは非常にありがたいのですが、他への影響を考えたとき、どうなのかなと思います。

(委員)いろいろなところに出演させていただいたのですが、地域の皆さんの中には、市で助成したもので、一部の団体が補助金を使っているのはよろしくないのではないかという御意見をいただいたりすることもありますし、例えば事業的に本格的に売り出したいというときに、果たして市で助成していたものを商業ベースにのせていいのだろうかという想いもある。ここまで育ていただいたキャラクターですから、一旦は補助金をお返しして、こころおきなくこれからの活動に参加できると思います。もちろん市の活動もいままでどおりご協力させていただきます。

(会長)過去に助成したものが。

(委員)過去に助成してもらったものです。返納する義務はないですし、なにか不祥事があつたり、不正な使い方をした訳ではない。

(藤沢地域振興課長)ご好意はたいへんありがたく思います。この件については、地域協議会で決定することではないと思います。地域協議会で決めることはできないと思います。具体的にはご寄付というような方法もあります。

(委員)会のほうに持ち帰って会員に相談して検討していきたいと思います。

・正副会長会で実施されたわがまち魅力アップ応援事業について

(会長)地域協議会の正副会長会の方で、わがまち魅力アップ応援事業の審査会がありました。審査した事業5件のうち2件が真田地域に関係することですが、一つは上田を紹介するパンフレットを4ヶ国語で作る事業が採択されました。我々の中で作るということではなくて、もしも必要な要件があつたならば、こちらの方と同期をとりながら、要求を出していくということ、この中に真田地域のPRを入れるということになっております。もう一つは、信濃の国という歌がありますが、それをもじって上田版の歌を制作し、ヒップホップダンスを踊って上田が元気になるうとのことで、非常に評価をされて採択となっております。5件のうち4件が採択されており、2件が真田地域に関係していますので報告しておきます。

(副会長)ダンスはさなだクリニックの先生が教えていますし、それから4ヶ国語のパンフレットは中国語、韓国語、英語、日本語となっています。

(会長)別件ですが、第二次の総合計画ができてまいります。それに伴って、地域づくり方針を来年の1月から3月に我々が作るということになる予定でいます。今年は結構忙しくなると思われます。

・次回協議会開催日時について

(副会長)次回は8月20日(水)午後7時からでよろしいでしょうか。次回、全体会を行ったあと分科会に入ることになります。分科会は9時前を目途に、各分科会ごとに解散したいと思います。

・全員了承

6 閉会